

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価（案）

## 1 めざす学校像

創設122年めを迎える府立富田林高等学校に大阪府立初の（併設型）中高一貫校として併設された本校は、6年一貫した教育を通して生徒・保護者・地域のニーズに応じた生徒の進路実現を図り、地域・社会に有為な人材（グローバル・リーダー）の育成を使命とするとともに、未来に向けた挑戦を続ける。

<中高一貫校としてめざす学校像>

「地球的視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献する人材」の育成校をめざす。

<中高一貫教育を通して育みたい力>

- (1) グローバルな視野とコミュニケーション力
- (2) 論理的思考力と課題発見・解決能力
- (3) 社会貢献意識と地域愛

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

(1) カリキュラムマネジメントに基づき教育課程を編成し、各教科・科目においては「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組み、知識・技能はもとより、思考力・判断力・表現力及び、生徒の主体性・協働性を育む。

ア 45分×7限授業（35単位時間（45分授業））により、2学期制のもとに確かな学力の育成に取り組む。

イ 「授業改革推進委員会」を核として、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に組織的かつ恒常的に取り組む。

ウ 6年一貫のCan-doリストに基づく英語の運用能力の素地を育成する。

エ 各教科において中高6年一貫の「学び」を可視化し、当該教科に留まらず教科横断的なカリキュラムマネジメントを推進する。

オ 学習時間を記録する生徒手帳の機能を活用するなど、家庭での学習習慣の確立のための工夫をする。

カ 「1人1台端末」の効果的活用を進め、その情報共有を図る校内体制を構築し、生徒の学びを支援、深化させる。

※（生徒向け）学校教育自己診断における授業満足度を令和6年度まで90%以上を維持する。（R1 86% R2 92% R3 93%）

## 2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み

(1) 中高一貫して「探究」と「貢献」をキーワードに教育活動を組み立て、地域に対する愛情を基礎に、国際社会に貢献しようとする高い志をもつ人材を育成する教育を推進する。

ア・スーパーサイエンスハイスクールとして「総合的な学習の時間」では、学年に応じた探究プログラムを改善し、地域をフィールドとして広域外部サポーター（同窓会、自治体、企業、大学、NPO等）と協働で課題発見や課題解決能力の育成等、科学的リテラシーを育成するとともにキャリアプランニング能力を育成する。

イ・学力向上推進委員会が中心となって、中高一貫した進路指導実現のための様々な取組みの具現化を図る。

※（生徒向け）学校教育自己診断における「探究活動の満足度」を令和6年度まで85%以上を維持する。（R1 83% R2 85% R3 86%）

また、「これからの時代や自分の将来について考える機会がある」の満足度を令和6年度には80%以上をめざす。

（R1 75% R2 78% R3 77%）

## 3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み

(1) 充実した学校生活こそが、「生きる力」の源泉になることから、中高一貫教育の観点から学校行事・部活動等の一層の充実を図る。

ア <中高一貫教育を通して育みたい力>の育成に向けて、学校行事を充実させるとともに部活動を奨励し文武両道をめざす。

イ 人権教育を推進するとともに、国際社会の一員として必要な人権意識・マナーを醸成する。

ウ 互いに高め合う、あたたかな仲間づくりを進める。

※（生徒向け）学校教育自己診断の学校行事満足度を令和6年度まで90%以上を維持する。（R1 89% R2 92% R3 99%）

(2) 異文化交流による国際教育を中高一貫して推進する。

ア 国際交流（マレーシア、台湾、ベトナム、タイ、オーストラリア、アメリカ等）の充実及び新たな交流国の開拓

イ ・台湾姉妹校や、高校との連携による高校姉妹校との交流の継続

・グローバル人材の育成に向け、中高一貫教育を踏まえた段階的海外研修を計画、実施する。

※（生徒向け）学校教育自己診断結果で「国際交流等を通じたグローバルな視野とコミュニケーション力の育成」を令和6年度まで90%以上を維持する。

（R1 93% R2 96% R3 93%）

## 4 中高一貫校としての「スクール・ミッション」等の明確化と地域・保護者との連携

(1) 中高一貫校として「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」を明確にし、6年一貫した教育活動の充実を図る。

ア 中高一貫の観点で「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」を策定すべく、それぞれ校種の校務分掌を有機的に関連付けて協働させ、その中で人材育成を図る。

イ 全国的な教育課程研究会への参加や、全国の教育先進校の視察を行い、中高6年間の教育内容を常に検討し改善に努める。

ウ 中高一貫校として、またコミュニティ・スクールとして相応しい学校Webページとなるよう随時改修しながら、質・量ともに充実した情報発信に努める。

※（保護者向け）学校教育自己診断における情報発信の満足度を令和6年度には90%以上をめざす。（R1 88% R2 92% R3 88%）

(2) 地域・保護者と連携し、魅力ある学校づくりをすすめる。

ア コミュニティ・スクールとして広域外部サポーター（同窓会・企業・大学・自治体・NPO等）と連携のもと魅力ある学校づくりの推進

イ 安全・安心な学校づくり

ウ 地域貢献を推進

※（生徒向け）学校教育自己診断における学校満足度を令和6年度まで90%以上を維持する。

（R1 96% R2 96% R3 95%）

## 5 働き方改革の推進

(1) 業務効率の向上を図り、職員の心身の健康を維持する。

ア ノークラブデー、ノー残業デーの徹底し、時間外勤務を縮減する。

イ 校務の見直しによる業務の軽減化

ウ 「外部人材の活用等人的措置」により教職員の負担軽減を図る。

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R3年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1)「わかる授業、充実した授業」をめざした取り組み</p> <p>ア 45分×7限授業(35単位時間(45分授業))により、2学期制のもとに確かな学力の育成に取り組む。</p> <p>イ 「授業改革推進委員会」を核として、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に組織的かつ恒常的に取り組む。</p> <p>ウ 6年一貫のCan-doリストに基づく英語の運用能力の素地を育成する。</p> <p>エ 各教科において中高6年一貫の「学び」を可視化し、当該教科に留まらず教科横断的なカリキュラムマネジメントを推進する。</p> <p>オ 学習時間を記録する生徒手帳の機能を活用するなど、家庭での学習習慣の確立のための工夫をする。</p> <p>カ 「一人一台端末」の効果的活用を進め、その情報共有を図る校内体制を構築し、生徒の学びを支援、深化させる。</p>	<p>ア・45分×7限授業(中学校では週35単位時間)により、学校生活をデザインする。</p> <p>イ・各教員がスーパーサイエンスハイスクールであることを意識し、探究的要素を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業デザインができるよう研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査において、「思考力・判断力・表現力」を問う問題づくりを進め、教科の枠を超えて学び合えるように取り組む。</li> <li>中高合同の地域公開研究授業(DAY)を実施するとともに、全教科の教科研修を一定期間設け(授業交流週間 WEEKS)、各教科での研究授業を他教科からも授業参観がしやすい環境をつくる。また、授業観察シートを活用して教科の専門性を超えた授業研究を行う。</li> <li>生徒による「授業アンケート」を7月、12月に実施し、全教員による授業改善シートを作成する。</li> </ul> <p>ウ・毎朝始業前に10分間の「モーニング・イングリッシュタイム」を実施し、中学校初期段階からリスニング力を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オールイングリッシュでの体験をベースとした「イングリッシュキャンプ」等を1・2年生で実施する。</li> <li>中学2・3年生全員に英語能力試験(外部試験)を実施する。</li> </ul> <p>エ・中高の各教科において、それぞれの3年間の学びを可視化し、それを学校案内パンフレットに反映させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科、科目の各単元等が、育む力とどのように関連付けられているか見直すことにより、カリキュラムマネジメントを進める。また、探究など他教科・科目との教科横断的な観点で内容の配置や精選について検討する。</li> </ul> <p>オ・すき間時間を活用した学習方法(ICT活用等)を研究し、家庭での学習時間(通学時間等を含む)を増やす。その際、家庭学習記録を作成し可視化する。</p> <p>カ・オンライン学習研究委員会を中心に、校内体制の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT環境の一層の充実を図るとともに、全教科でICT機器を活用した授業を展開し、成果を生徒用学校教育自己診断で測る。</li> <li>デジタル教科書を導入し、研究実践を行う。(一部教科)</li> <li>家庭学習における効果的なICT活用方法を探る。</li> <li>ICT教育先進校等の情報収集を行う。</li> </ul>	<p>ア・(生徒) 学校教育自己診断における授業満足度 90%以上を維持向上する。 [92%]</p> <p>イ・(教員) 授業検討機会満足度 80%以上 [83%]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(教員) 学校教育自己診断「主体的・対話的で深い学び」を意識して授業をしている。」90%以上[88%]</li> <li>(生徒向け) 深く考えさせる授業満足度 90%以上をめざす。 [93%]</li> </ul> <p>ウ・(教員) グローバル教育推進度 90%以上 [83%]</p> <p>エ・学校案内パンフレットの内容を毎年見直しする。</p> <p>オ・(生徒) 学校教育自己診断「家庭学習を平均して1日90分以上している」60%の維持向上をめざす。[60%]</p> <p>カ・(教員) 学校教育自己診断「生徒たちがタブレット等を活用した授業を行っている。」75%以上をめざす。 [75%]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(生徒) 学校教育自己診断「授業以外でも、パソコンやタブレット等を利用した学習をしている。」65%以上をめざす。[65%]</li> </ul>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み</p>	<p>(1)「探究」と「貢献」をキーワードとし、国際社会に貢献する人材育成</p> <p>ア・スーパーサイエンスハイスクールとして「総合的な学習の時間」では、学年に応じた探究プログラムを改善し、地域をフィールドとして広域外部サポーター（同窓会、自治体、企業、大学、NPO等）と協働で課題発見や課題解決能力の育成等、科学的リテラシーを育成するとともにキャリアプランニング能力を育成する。</p> <p>イ・中高一貫した進路指導実現のための学力向上推進委員会が中心となって、様々な取組みの具現化を図る。</p>	<p>ア・総合的な学習の時間の中で「探究」と「貢献」をキーワードとした教材を活用し、自己肯定感を高めるとともに将来の進路や生き方について考え、自ら切り開いていこうとする姿勢を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域外部サポーターを活用し、南河内探究、社会探究、課題提案探究について10月～3月での実施し、課題発見や課題解決能力を育成する素地を作る。</li> <li>・スーパーサイエンスハイスクールの取組み強化策として総合的な学習の時間の中で、大学や高校教員による自然科学に関する専門的な講座を新たに開設することにより、自然科学探究への意欲・関心・態度を育成する。</li> <li>・総合的な学習の時間の中で将来の生き方や進路について考える機会3回以上設ける。（講座、講演、出前授業等）</li> </ul> <p>イ・学力向上推進委員会を定例化し、機能強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員に学力推移調査等（外部試験）を実施し、将来の目標を早期に発見させる。</li> <li>・毎週火曜日の学習優先日に学習支援を実施する。</li> </ul>	<p>ア・（生徒）学校教育自己診断における「総合的な学習の時間」の満足度85%以上の維持向上をめざす。 [86%]</p> <p>（生徒）将来の生き方や進路について考える機会満足度75%以上をめざす。[77%]</p> <p>イ・中高校学力向上推進委員会との連携による中高を通じた学力向上策として教職員研修の2回以上の実施をめざす。 [2回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科での学力分析を行い、結果と対策について校内プレゼンテーションを1回以上する。 [1回]</li> <li>・学力分析結果について保護者説明会を2回以上実施する。 [2回]</li> <li>・広域外部サポーターとの連携により学習優先日に中学・高校教員、高校生、地域人材（大学生等）を活用した学習支援の20回以上の実施をめざす。</li> <li>・地域学校協働本部との協働による大学入試説明会の実施（1回以上）をめざす。 [1回]</li> </ul>	
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み</p>	<p>(1) 「生きる力」育成のベースとして学校行事・部活動等の一層の充実</p> <p>ア &lt;中高一貫教育を通して育みたい力&gt;の育成に向けて、学校行事を充実させるとともに部活動を奨励し文武両道をめざす。</p> <p>イ 国際社会の一員として必要な人権意識・マナーを醸成する。</p> <p>ウ 互いに高め合う、あたたかな仲間づくりを進める。</p> <p>(2) 異文化交流による国際教育を中高一貫して推進する。</p> <p>ア 国際交流(台湾、マレーシア、ベトナム、タイ、オーストラリア等)の充実及び新たな交流国の開拓</p> <p>イ・台湾姉妹校や、高校との連携による高校姉妹校との交流の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル人材の育成に向け、中高一貫教育を踏まえた段階的海外研修を計画、実施する。</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>ア・中高合同の学校行事の効果的な実施と成果を検証する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 文化祭・体育祭における準備委員会を高校生と協働で活性化させる。</li> <li>② 体育祭実施において、伝統を継承しつつ、新たな形態を作り上げる。</li> <li>③ 修学旅行等を3年間見通した計画を立てることで、内容の充実を図る。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高合同の部活動指導の拡大を図る。</li> <li>・部活動への参加を奨励し、文武両道をめざすとともに中高一貫した指導体制を整える。</li> </ul> <p>イ・中学校段階に相応しい人権及び生徒指導研修を計画・実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、遅刻指導の充実と基本的な生活習慣を身に付けさせる。</li> </ul> <p>ウ・生徒自らが課題を見つけ、自分自身や仲間とともに解決していこうとする力を育てる。中心となる活動として「メイクハート運動」を実施し、学校全体で取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高一貫した「いじめ基本方針」に基づきいじめを許さない仲間づくりを計画的に実施する。</li> <li>・演劇的な手法を用いてコミュニケーション力の育成を図る。</li> </ul> <p>(2)</p> <p>ア・高校との連携も含め、台湾やマレーシア、オーストラリア、タイをはじめとする様々な国の生徒との交流の可能性を探る。</p> <p>イ・台湾姉妹校交流方法を工夫改善し、異文化を理解する態度をはぐくむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校との連携により高校姉妹校との交流を図る。</li> <li>・コミュニティ・スクールのしくみを活用し、中高6年間を見通した海外研修を複数計画し、それぞれの研修のねらいを明確にして実施する。(中学ではマレーシア等でグローバルリーダー育成海外研修旅行を企画し、世界的な視野を広めるとともに、多様性を理解しようとする態度をはぐくむ。)</li> </ul> <p>※新型コロナ禍において、海外研修等海外への旅行の可否に関わらず実施可能なグローバルプログラムを検討し、実施する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・体育祭の体育館(収容人数の大)での形態について検討し、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率 90%以上をめざす。[86%]</li> </ul> <p>イ・課題に合致した人権研修の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育推進委員会を定例で開催し(週1回)中高系統性のある指導を行う。</li> <li>・中高制服検討委員会を設置し、多様性理解に基づいた制服デザインの検討を行う。</li> </ul> <p>ウ・「メイクハート運動」を実施し、生徒自らが課題を見つけ、解決に向けた取組みについて12月実施をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(生徒向け)学校教育自己診断結果における「いじめ対応」に対する満足度90%以上維持をめざす。[94%]</li> <li>・(生徒向け)学校教育自己診断結果における悩み相談の満足度「相談できる先生」60%以上、「相談できる友達・先輩後輩等」80%以上をめざす。[63%, 86%]</li> <li>・演劇的な手法を用いたコミュニケーション力の育成の取組みについて文化祭(6月)での発表をめざす。</li> </ul> <p>(2)</p> <p>ア・多くの生徒が海外の中・高校生との2カ国以上の交流をめざす。[1ヶ国]</p> <p>イ・コロナ禍において国内への修学旅行についても検討し、台湾の姉妹校と今後の交流についてICTを活用した意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールのしくみを活用しグローバルリーダー育成海外研修の実施について、新型コロナ禍における実施可能なグローバルプログラム検討について定例的な開催(年3回以上)をめざす。(コロナ感染状況により国内での交流(1回以上)もありうる)[新規]</li> </ul>
-----------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 中高一貫校としての組織の活性化と地域・保護者との連携</p>	<p>(1) 「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」の明確化</p> <p>ア 中高一貫の観点で「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」を策定すべく、それぞれの校種の校務分掌を有機的に関連付けて協働させ、学校全体で共通認識を図る。</p> <p>イ 全国の中高一貫校やSSH校、コミュニティ・スクールにおける教育先進校等を視察するなど、先進的な取組みに学び、中高6年間の教育内容を常に検討し改善に努める。</p> <p>ウ 中高一貫校として、またSSH指定校として相応しい学校Webページとなるよう随時改修しながら、質・量ともに充実した情報発信に努める。</p> <p>(2) 地域・保護者と連携した魅力ある学校づくり</p> <p>ア コミュニティ・スクールとして地域と連携のもと魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>イ 安全・安心な学校づくりに努める。</p> <p>ウ 地域貢献を推進する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」の策定に取り組み、共通認識を図る。</p> <p>・中学、高校それぞれの対応する分掌を協働的に機能させる。</p> <p>イ 全国の先進中高一貫校・SSH校・コミュニティ・スクール校等の先進的な取組みを視察・情報収集等を通してカリキュラムや組織体制を充実させる。</p> <p>ウ・前年度に全面改訂した学校Webページを随時改修し、各組織においては定期的な情報更新に努める。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校運営協議会を設置し、学校運営や学校の課題に対して、教育課程を社会に開きより多くの方々が学校運営に参画できるように努める。</p> <p>・コミュニティ・スクールについて情報収集を行う。</p> <p>・コミュニティ・スクール推進委員会を組織し「めざす学校像」の共有化を図り、中高一貫した取組みを進める。</p> <p>イ・教員だけでは対応できない教育課題（ヤングケアラー等を含む）解決のための人材（SC、SSW、識者等）を「学校支援チーム」に効果的に配置する。</p> <p>・中高一貫した防災教育計画に基づき防災訓練等を実施するとともに、安全安心のための学校環境の整備を行う。</p> <p>・安否確認等を迅速に行えるよう、適当な時期に想定訓練を実施する。</p> <p>ウ・広域外部サポーターを活用し、地域を知るとともに地域の課題を発見させる。</p> <p>・コミュニティ・スクール広域外部サポーターとの連携を基礎に、課題を見付け、その解決に向けて生徒が協働的に取り組み、成果を「とんこう地域フォーラム」等で発表する。</p> <p>・地域からの要請に応えるだけでなく、地域に出かける活動を取り入れる。</p> <p>・地域貢献活動を実施する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア（保護者）教育方針の明確化（新規） （教員）教育理念・運営理念の明確化（新規） （教員）分掌・教員間での中高連携満足度50%以上をめざす。[25%]</p> <p>イ 先進校等の情報を収集し、職員会議等での情報共有（2回以上）をめざす。[2回]</p> <p>ウ（保護者）学校教育自己診断における情報発信の満足度90%以上を維持する。[88%]</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校運営協議会を設置し、取り組み内容についてより多くの方々が学校運営に参画した熟議開催（2回以上）をめざす。[3回]</p> <p>・学校運営協議会委員が教育活動に係り教育活動を推進するCS協議会を年3回開催するより企業等との連携を充実させる。</p> <p>イ・専門人材（SSW、SC、識者等）を活用し、機関連携や研修・講演等の1回以上の実施をめざす。[1回]</p> <p>・連絡手段体制が確立し、想定訓練等の1回以上の実施をめざす。[1回]</p> <p>ウ・（生徒向け）</p> <p>・生徒会が中心となり幼稚園・小学校・中学校等と連携した活動の1回以上の実施をめざす。[0回]</p> <p>・寺内町フィールドワーク実施（1回）[新規]</p> <p>・河川清掃などの地域でのボランティア活動の1回以上の実施をめざす。[0回]</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p style="text-align: center;">5 働き方改革の推進</p>	<p>(1) 業務効率の向上を図り、職員の心身の健康を維持する。</p> <p>ア ノークラブデー、ノー残業デーの徹底し、時間外勤務を縮減する。</p> <p>イ 校務の見直しによる業務の軽減化</p> <p>ウ 「外部人材の活用等人的措置」により教職員の負担軽減を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 各クラブのノークラブデーの徹底を周知するとともに、本校のノー残業デーである金曜日に掲示板等での呼び掛けも行って、定時退勤を促す。</p> <p>イ・校務(事業等)を見直すことで業務の軽減化を図る。</p> <p>ウ・教育課題解決のための人材(SC、SSW、学生サポーター等)を「学校支援チーム」として効果的に配置することにより教職員の負担軽減をはかる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・(教員向け) 生徒や教職員への安全管理満足度 75%以上をめざす。[75%]</p> <p>イ・校務の見直し等を検討する安全衛生委員会の年5回以上の開催をめざす。[3回]</p> <p>ウ・「学校支援チーム」連絡会議の3回以上の開催をめざす。[3回]</p> <p>ア、イ、ウとも、 (教員向け) 大学生・民間人等の支援による教育活動充実度 50%以上維持をめざす。 [42%] (教員向け) 学校教育自己診断結果における富田林中学校での勤務満足度 90%以上の維持をめざす [83%]。</p>	
---------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--